広報

1月号

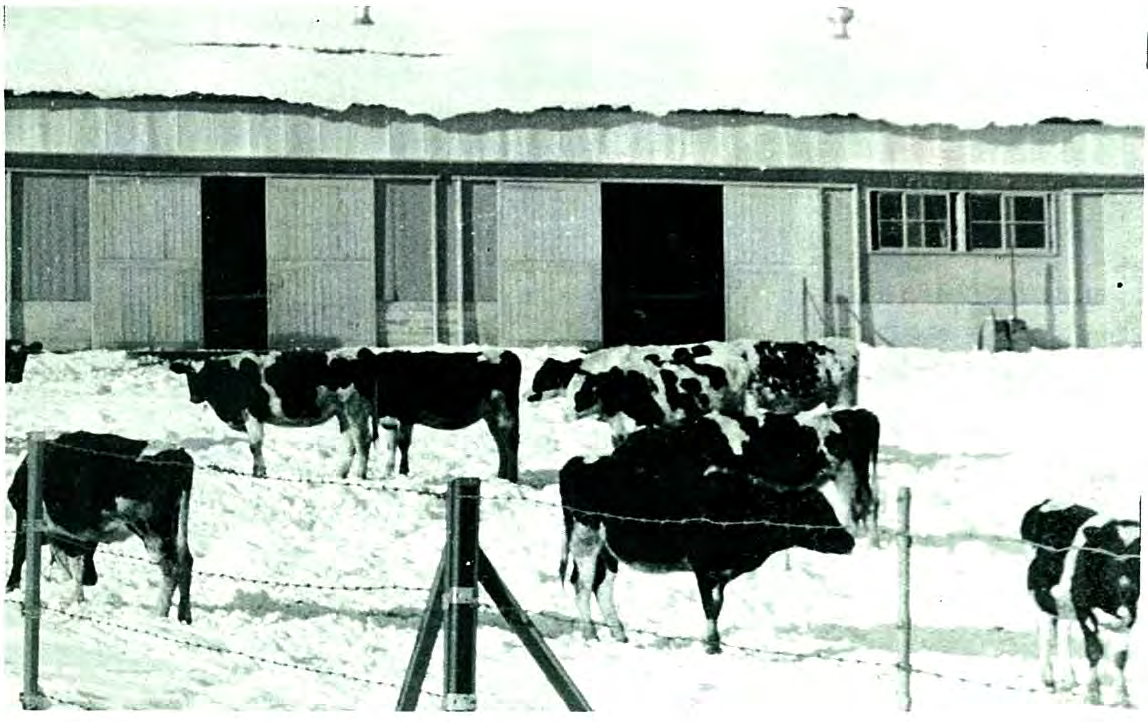
昭和48年

新年号の表紙として、町営温水プールで元気に水泳を楽しむ子ども達の姿を、とらえてみました。だが、カメラは元気な子ども達の動きを止めることが出来ませんでした。

私たちの子ども時代には、冬に泳ぐということは考えもつかず、銭湯でボチヤボチヤと手足を動かし、番台のおばさんに、しかられるのが関の山でした。

午前中はスキー、午後は水泳を楽しむことの出来る現代の良い子達は、大人たちからみると恵せそのものですが、子ども達にしてみれば、当り前のことであり、不思議にさえ思っていません。

さて、本紙も発刊以来二百五十七号となりました。町民の皆さんと町政のパイプ役として、多くの方々のご協力のもと努力してまいりました。しかし、まだまだ力が足りず、ことしも皆さんのご協力のもと更に精進してまいりたいと考えております。どうか昨年にも増してご協力、ご助言くださるよう、お願い申しあげます。



社会福祉充実の年

幕別町長　中島國男

あけましておめでとうございます。新らしい年、昭和四十八年の春を皆々様とともにお迎えすることが出来ますことを、心からお喜び申しあげます。

昨年をふり返ってみますと、実に、いろいろな出来ごとがありました。干ばつや台風二十号などの天災、世界的な経済の変動など数かぎりはありませんが、このような出来ごとを経験し、克服することによって人格が形成されるものであり、皆々様におかれましても、いろんな意味において、成長された年といえましょう。

さて、ドル安、円高から端を発しました景気の停滞も、幸なことに次第に好転してまいっておりますが、いまだ完全に立ち直りをみせておりません。本年も予断を許さない深刻な状況になるものと予想されているため、町独自の対策を、いろいろと検討いたしております。皆々様におかれましても、不用不急の消費をつつしみ、この難関を乗り切っていただくよう、お願い申しあげます。

町では、昨年も各種の事業を実施いたしました。建築関係では役場庁舎、町営温水プール、それに札内中学校統合校舎、幕別中央保育所の建設にも着手しました。農業関係では農業構造改善事業による馬鈴薯貯蔵所の建設などをおこないました。これも町民の皆様のご協力の賜と感謝いたしております。

私は、就任以来、市街地区と農村地区との格差を解消するのは、道路の整備が第一という考えから道路の整備をすゝめてまいりました。昨年も日新道路をはじめ豊岡、相川地区の農道を改良するとともに、駒畠第三号農道、日新地区一般農道、駒畠地区農免農道などの改良工事を実施し、橋梁では途別二号橋を永久橋に架替えいたしました。

このほか、町道の維持管理に鋭意努力しております。しかし、全町で二百七十八路線もあります町道を、いっ気に改良することは至難でございますが、今後とも計画にもとずいて改良をおこない、皆様のご不便の解消につとめてまいりたいと考えております。

町営牧場の新春

私たちの街、幕別町は、明治三十年に誕生して以来、おどろく程の発展をとげております。この発展は、未開の地に入植し、黙々と開拓に従事した先人の努力の賜であり、引きつづき今日の隆益の基礎をきずいてくださった先輩各位の奮討の賜であります。

私たちの住む社会は、高度成長をなしとげましたが、ことしは従来の社会福祉を更に充実させる年と考え、幕別発展の基礎をきずいてくださったお年寄りの皆さんと零歳児の医療無料化、敬老年金の増額を、更に充実させてまいりたい、と考えております。

また、昨年の暮には、明るいお正月を迎えていただくため、寝たきりのお年寄り、または恵まれない方々に援助申しあげております。

本町の基幹産業であります農業の振興でございますが、寒地農業経営から切り離すことの出来ないビートの総収量が、私たちの待ち望んでいました十万㌧を突破し、十一万七千七百余㌧に達しました。これも農民の皆さんのご理解とたゆまぬ努力の結果であり、一昨年の総収量八万八千㌧から考えますとき、本町の農政史上に特筆されるものと確信いたしております。

昨年、土地基盤整備事業として国営では駒畠パイロット事業、古舞直轄明渠排水事業、古舞地区農地開発事業、道営では西糠内地区直轄明渠排水事業などを実施いたしました。本年は更に継続して、これらの事業を、おこなうことになっております。

どうか、農業を経営しておられる方々におかれましても、経営の安定のため、更に努力くださるよう、お願い申しあげます。

町政の目標は、なんといっても明るい健康的な街づくりにあります。犯罪のない明るい街とするため、昨年より街路灯の維持管理を無料化としたのも、その、ひとつの現われであり、昨年は白熱灯、水銀灯あわせて百灯を新設し、本年も相当数を設置いたし、名実ともに明るい街、幕別町にいたしたい、と考えている次第であります。また、建設以来、相当の年月を経過しております上水道の改善について、いろいろと計画を進めてまいりましたが、札内地区を含めた広域水道ということで、新年度から工事に着手する手はずになっており、ただいま、事務的な接衝を続けております。

ご承知のように、本町の人口は、発展を続ける幕別町にふさわしく増加をみせております。しかし農村部は他町村と同じ過疎の状態であり、憂慮されております。

新年度の予算も、以上の各種の問題を念頭に編成いたしますが、「限られた予算で最も効果ある行政」をモットーに、町政とすゝめてまいる覚悟でございます。

昭和四十八年は、いまだ未知の世界であり、それだけ無限の可能性を秘めております。町政を、おあずかりした者として、無限の可能性を秘めている昭和四十八年を、町民の皆さんの幸せを求めて一歩一歩確実に歩んでまいりたいと考えております。

町民の皆さんにおかれましても、健康に十分留意いたし、昭和四十八年という年が、最良の年となるよう、ご努力くだされんことをお願いいたし、新年のごあいさつといたします。

農用地等流動化対策連絡協議会発足した

正常な農業経営に協力

日本列島改造論に便乗して、管外資本による農用地等の蚕食が続いています。

このため地価が高騰し、農業経営の規模拡大を考えている方々の計画をはばみ、土地利用の計画的な推進に大きな悪影響をおよぼしています。

農地相談所も開設

去る十二月十四日に、町、農業委員会、農業協同組合などが協議し、中島町長を会長とする「幕別町農用地等流動化対策連絡協議会」を発足させ、同時に幕別町農地相談所を農業委員会内に開設いたしました。

対策連絡協議会は、各農業団体その他と横の連絡をはかり、農地等に関する、いろいろな問題にたいし、現地に即応した措置をとりまた、農業経営規模の拡大と農業生産力の増進について協力することになっています。

なお、事情によって、町は北海道農業開発公社とも相談して用地買上げの措置も考えております。

農地を移動する前にご相談ください

農地を売りたい、買いたい、または貸したり、借りたりする場合でも、まず、農業委員会に、ご相談ください。相談もなかったため大変損をした方もおります。

現況が農地になっているのに、台帳地目が山林、原野であることを悪用、農家の皆さんから言葉たくみに土地を買いとり他に転売している不動産業者が見受けられます。

農業委員会では、このような事例を発見した場合、ただちに双方に原状回復を命じます。このような事態になりますと、契約手付け金の倍返しや、後日、多額な税金が課せられるなど、予期せぬことが、おこります。

農地法という法律は現況主義でたとえば、台帖地目が山林、原野であっても、現況が田、畑、採草放牧地（自然野草地）であれば農地ということになります。したがって農地等の売買には必らず農業委員会の許可が必要なのです。

違反とならないものであっても前もって相談しなかったばかりに税の特例を受けることも出来ず、たくさんの税金が、かかったという例が、よくあります。

営農を継続中の人にも、離農する人にも、税金面、資金面のほかいろいろな優遇措置があります。くわしいことは、農業委員会または農地相談所にご相談ください。

なお、農業委員会は毎月十日前後に開催していますが、委員会開催の前に議案を作る関係から、各種の申請書は毎月五日頃までに事務局（役場二階）あて提出してくださるよう、お願いいたします。

老人に手袋を寄付

幕別藤幸会（代表・藤間幸澄さん）では、十二月十八日に開催された老人クラブ例会の席上、お年寄りの皆さんにたいし、毛糸の手袋百組を寄付しました。このあと藤幸会の小さな生徒さん達は、練習を重ねた舞踊を披露しお年寄りの皆さんからヤンヤの拍手を受けていました。

かわいいお嬢ちゃんから手袋を受けとるお年寄りの皆さん

参加者一同で祝福

角田さんの叙勲祝賀会

〔既報〕 町議会議員の角田政平さんが、昭和四十七年度秋の叙勲で勲五等瑞宝章を受章しましたが、十二月十五日に中島町長、山田議長、箕浦議員会副会長らが発起人となって、叙勲祝賀会を町民会館で開催しました。

祝賀会では、発起人代表の中島町長が挨拶したのち、箕浦議員会副会長によって受章報告があり、参加した二百五十余名の方々は角田さんの叙勲を祝福しました。

なお、角田さんは昭和十一年四月に幕別村議会議員に当選以来、三十六年余にわたって地方自治の振興につくしたほか、消防、社会福祉、人権擁護の面についての功績も高く評価されています。

写真は角田さんご夫婦

皆さんの善意に感謝いたします

寝たきり老人に一万円

恵まれぬ方々に年末見舞金

町民の皆様方のあたたかい善意によって、寝たきり老人、一人暮しの老人などに、多額な年末お見舞い金を贈ることが出来ました。

町および町社会福祉協議会では皆様方から寄せられました善意あふれる共同募金、歳末募金を柱とし、これに町費九十万円を上積みした総額百五十八万七千円を、恵まれない方々にも明るいお正月を迎えていただくため、次のように歳末見舞金を贈りました。寄付をいただいた方々にたいし、あらためて感謝申しあげます。

また、病気の方その他の方々も今年こそは元気に社会に復帰いたすよう、お体に十分気をつけてください。金額は一人、または一世帯あたり、カッコ内は該当者数。

◎寝たきり老人　一万円（二十九人）
◎一人暮しの老人　一万円（十一人）
◎重度心身障害者・在宅　一万円（一人）
◎生活困窮者　三千五百円（四十一世帯）　二千五百円（百十九人）
◎福祉施設入所者　四千円（七十六人）
◎長期入院者　四千円（七十五人）
◎生活保護世帯　二千円（六十六世帯）

町営ボウリング場で落成式を開催

町営ボウリング場「幕別温泉ボウルハイツ」の落成式ならびにオープン記念式典が、十二月二十四日に幕別温泉ボウルハイツで開催されました。

まず、十二時から修技、玉串奉尊がおこなわれ、同一時からオープン記念式を開催しました。

オープン記念式では、中島町長の式辞ののち、建設業者などにたいする感謝状の贈呈、来賓祝辞があり、中島町長によってテープカットを、山田議長によって記念投球がおこなわれました。

幕別温泉ボウルハイツは、昨年九月から幕別温泉ホテルの隣接地で、一フロアー十六レーンの工事をすすめていたもので、この完成によって、幕別温泉ホテルの周辺は着々と充実しております。

会員を募集

「幕別温泉ボウルハイツ」とは幕別温泉の丘にあるボウリング場という意味で、ただいま会員を募集しております。

会員は幕別町民のみとし、入会金は無料。このほか町民以外の特別会員制度もありますが、入会金を必要とします。

会員の種別はいろいろありますが、グループ会員の場合は、グループ人員の数によって会費は最高八百円から五百円までであります。

会員の特典はゲーム料金の割引き、レーン予約の割引き、各種企画の招待、誕生日のゲーム優待割引きなどがあり、このほか、週一日、町民の日を設けることになっています。

くわしい内容は電話札内三七〇〇番に、おたずねください。

写真は中島町長のテープカットと山田議長の記念投球

賀正

町長　中島国男
助役　五十嵐吉三郎
収入役　佐藤久蔵
外職員一同

篤志寄付者のお名前

▼一万五千円・小林弘昌さん・帯広市
衣類の行商でお世話になりましたと、地区の方々の子弟が通っている駒畠小、中里小、明倫小に、それぞれ五千円あて指定寄付されました。

▼千円・匿名の方から恵まれない子どもさん達に五百円交通安全に役立ててくださいと五百円がおくられました。

▼一万五千円・町交通指導員一同から交通遺児の福祉に役立ててほしいと寄付がありました。

▼五千円・古舞老人クラブから恵まれないお年寄りに、と社会福祉協議会へ。

▼一万円・藤平清志さん・本町老人医療費無料化に感謝して社会福祉協議会へ。

▼一万五千円・幕町町青年ボランテイア連盟
音楽チャリテーシヨウの益金を十勝愛育園に。

▼五十万円・KK遊佐組社長から、恵まれない方々に贈ってくださいと町愛情銀行に寄付。なお、昨年も五十万円の寄付をいただいています。

安住の地を得た牧水碑

日新坂の昇り口に移設

写真は移設が終った牧水歌碑

放浪の歌人といわれた若山牧水が、喜志子夫人をともなって黒田温泉（現在の幕別温泉ホテルの近く）に旅装をといたのは大正十五年十月十八日のことでした。すっかり気にいった牧水夫妻は、五日間もの間、逗留しました。

牧水の死後、ゆかりの地に記念碑建設の声がおこり、黒田温泉の前庭に「幾山河」の歌碑を建設したのは昭和十二年五月三十日のことです。

その後、黒田温泉は廃業、また道路工事などによって敷地は狭くなり、幕別温泉ホテルを訪れる車も増加したため、ゆっくり歌碑を見学することも出来ず、いっそ移転したら……という声もありました。

写真は移設が終った牧水歌碑

町では、歌碑建設当時の関係者と相談し、移転場所を、牧水が愛した十勝平野を、一望のもとに眺めることの出来る日新坂の昇り口に決定、工事を急いでいましたが昨年の暮に完成、いままで、草むらの中で、ひっそりとしていた歌碑も、見はらしの良い安住の地に落着くことが出来ました。

危険な家庭風呂
消防署で防火査察

幕別消防署では、昨年十月中旬から下旬にかけて、幕別、札内の農家を対象に防火査察をおこないその結果をまとめました。

査察の期間が農繁期でもあったためか、家庭風呂設備の悪いもの煙突、煙道の設備が悪いものなどが特に目立ちました。査察の結果は左の表の通りで、消防署では早急に改善するよう望んでいます。

また、火災が発生しますと、火災現場に急行する消防自動車の前後を走ったり、火災現場では、ところかまわず乗り捨てる自家用車など、目にあまるものがあり、消火活動に支障をきたしています。

特に冬期間の場合は積雪のため道路が狭く、消防車がスムーズに火災現場に到着することが出来ないこともありますので、自家用車による火災現場への乗り入れは絶対にしないよう、お願いします。

なお、消防車の走行妨害や消火活動の妨げになる行為は、消防法の罰則に該当いたします。

写真は悲さんな火災現場

危険物の貯蔵が条例に違反しているもの	２３０戸
暖房の煙突、煙道が悪いもの	２０５戸
風呂、かまどの危険なもの	１４４戸
屋内外が火災予防上危険なもの	１３２戸
風呂の煙突、煙道が悪いもの	１０７戸
その他火災予防上注意したもの	８４％

※査察戸数は　７１０戸

全町柔道選手権大会

第二回全町柔道選手権大会が町青少年会館で開催されました。戦績は次の通り。

◇小学生Aの部　体連会長杯
優勝―岡誠二（幕小）　準優勝―三井政治（幕小）　三位―高橋真司（白人小）

◇小学生Bの部　後援会長杯
優勝―椛本敏文（幕小）　準優勝―木藤寿（幕小）　三位―久保英孝（古舞小）

◇中学生の部　教育長杯
優勝―高橋茂樹（幕中）　準優勝―宮垣利文（幕中）　三位―宮垣正秀（幕中）

謹賀新年

幕別町議会
議長　山田栄
副議長　吉村康一
議員　箕浦正市
〃　中寺常次郎
〃　廻渕茂
〃　吉田猛
〃　服部間一
〃　松田喜太郎
〃　森脇仁
〃　黒島通
〃　角田政平
〃　斉藤毅雄
〃　伏屋隆徳
〃　麓治雄
〃　上田菊一
〃　矢島利勝
〃　加藤秀雄
〃　辺見徳明
〃　逢坂又市
〃　細川吉松
〃　横山義雄
〃　千葉清児
〃　斉藤梧朗
〃　須田赳
〃　高橋勇

教育委員会
委員長　妹尾太郎
委員　景山倫夫
〃　梅田敏男
〃　館喜雄
教育長　高橋一男

広報まくべつ（一五七号）　◆発行　幕別町役場（幕別本町一三〇番地）　◆編集　町民課広報係　◆印刷　大同出版紙業株式会社